

おいしい図書館 No. 6

成田市立図書館

訪ねて

六月二十三日、成田市立図書館本館を訪問しました。昨年九月の浦安・市川に次いで二度目の見学会です。参加者は十四名。今回も松戸図書館のお世話で市のバスを出して頂き、宮田さんが同行して下さいました。

事前に「県内公立図書館サービス指標（平成三年度）」を調べたところ、「個人貸出の登録率、個人貸出冊数、蔵書冊数、図書費、人口千入当たり年間増加冊数、専任職員一人当たりの人口」が、い

ずれも県内最上位を浦安と争う数値を示していたので、実際に見学するのを楽しみにしていました。

駅から遠い（徒歩三十分程）のが難点ですが、新たに広い敷地を求めるとなると、そうならざるを得ないのでしよう。

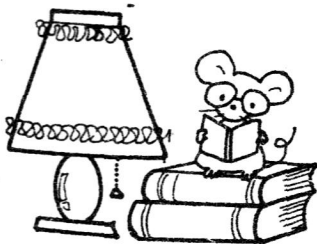
緑に囲まれ、閑静な成田ニュータウンの中にありました。この本館の他、市内の図書館は、公民館と併設の分館と移動図書館車二台（十六ステーション）から成っています。

明かるい 公開図書室

入口を入ると、右側が児童コーナー、左側が一般の公開図書室になっており、その中央に共通の貸出カウンターがあります。吹抜けの公開図書室は圧迫感がな

く、書架の高さは手前を低く、壁際に近づくとつれて高くしてあるので、室内を見渡すことができ、また、壁面の半分程を占める窓から外が眺められるので、とても明かるい感じがしました。壁際の高い書架の下の方には大きくて重い本、上の方には小さくて軽い本と、並べ方にも工夫しているようですが、上の方の文庫本のタイトルの字がよく見えないういう不都合を感じました。

ビデオコーナーは公開図書室の中にあリ、仕切もないので着ろついで見るものができないのではないかと思いました。コンピューターでの検索にとっても興味を持った方もおられたようです。



児童コーナーの「おはなしの部屋」では、週一回定期的におはなし会を行なっています。使っていない時は開放しているの、子供達が寝転んで本を読んだりしているようです。国際空港をひかえている所為か、児童コーナーにさえ洋書が多く見られました。

一般の雑誌の多さにも驚きました。五百種近くあり、海外の雑誌・新聞も備えてあるのは流石と思えました。

一階奥の書庫は、現在はまだ大余裕があるようですが、いずれ満杯になってしまうことでしょう。その時の保存、

及び廃棄はどうするので

しょうか。どの図書館

にも共通の難

しい問題だ

と思います。



充実した視聴覚

及び

障害者サービス

二階の参加資料室には、様々な分野に渡る資料が並びとても面白そうですが、気軽には入りづらい雰囲気のあるのが惜しい気がします。

視聴覚サービスも充実しているようで、視聴覚教材・機材の学校、社会教育団体への貸出を行なっています。なんといつでも視聴覚ホールで頻繁に催される映画会は魅力的で、大人向け、子供向けのものもそれぞれ定期的に上映されています。予定表には、私達が見たいと思うような作品がスラリと並んでいます。浦安でも同じ思いを持ちました。これからの図書館には視聴覚ホールが必要不可欠ではないかと思えました。

障害者サービスにも努力が見られ、電配、録音図書・大活字本・拡大鏡の設置、手話・筆談そのサービス・対面朗読・そしてその為の朗読講座も開かれるとのことです。

本館の開館は一九八四年とのこと。最近の傾向からか学習室はありませんでした。「学生の勉強の場としての図書館」というイメージを払拭したのと言えませんが、賛否両論があるのではないのでしょうか。

どうしても浦安と比べてしまうので申し訳ないと思いつつ、どこか物足りない印象が残りました。時間が限られているので、質問の時間をあまりとれなかったのが残念に思いました。(青木)

発行「おひい 図書館」

連絡先 青木 和子

松戸市 緑台 八三〇、六〇
〇四七五（六七）五三八四